

この本と私

読むことで

気付くこと

書くことで

判ることがある



「赤毛のアン」

ルーシー・モード・モンゴメリ著

アニメの「赤毛のアン」は好きなのに、原作を読むことなく時が過ぎていました。今回とうとう作品を手に取りになりました。私の持っているアンのイメージは、機関銃のようなべつ幕なしに喋り続ける、おっちょこちょいの女の子というものでしたが、原作を読んで、とんでもない思い込みであったことに驚きました。

アン・シャーリーは喜怒哀楽がはつきりとしており、まっすぐで正直、聡明でとても魅力的な人物として物語の中で動き出しています。のんびりとしたアヴォンリーの村で色々な事件が起きその真っ只中で元気に怒って、心から喜んで、と活き活きと描かれている彼女がとても好きです。彼女の空想の世界は少し少女趣味に感じてしまうところもあります。自分を取り巻く美しいものを見て、感動し、美しい名称を付けることのできる豊かな感性は羨ましい。そして、目標に向かってまっすぐに突き進んでゆこうという姿勢は、自分もそうありたいと思っているのでとても共感しました。この作品が好きな理由は自分もこうありたい、こうなりたいという部分をアンが実践しているからかもしれない。このシリーズは、続編が何冊あるのですが、どんな大人に成長しているのか、続きを読んでゆくのを楽しみます。

蛇足ですが、いま第二巻の「アンの青春」を読んでいます。アヴォンリーの学校で先生になっているアンの生活がメインになっています。

扶紀子



新潮文庫

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株)ファッションビジネス・御堂筋新聞